

【FdData 中間期末：中学数学 2 年：連立方程式計算】

[\[2 元 1 次方程式／加減法／代入法／加減法と代入法／分数などのある連立方程式／A=B=C, 3 元連立方程式／係数の決定\]](#)

[\[数学 2 年 pdf ファイル一覧\]](#)

【】 2 元 1 次方程式

[問題](1 学期期末)

次の方程式ア～カの中から、2 元 1 次方程式をすべて選べ。

ア $3y=6$ イ $2x-y=5$ ウ $xy=12$ エ $x+5=-9$

オ $3x+4y=2$ カ $x^2+y^2=3$

[解答欄]

[解答]イ, オ

[解説]

「2 元 1 次方程式」の 2 元とは未知数が 2 つということで、1 次方程式とは 1 次式で構成された方程式ということである。イとオが 2 元 1 次方程式である。アとエは未知数が 1 つであるので 1 元方程式である。ウとカは左辺が 2 次式なので 2 次方程式である。

[問題](1 学期期末)

2 元 1 次方程式 $2x-y=4$ の解を、次の中からすべて選び、記号で答えよ。

ア $x=-2, y=-1$ イ $x=-1, y=0$ ウ $x=1, y=-2$

エ $x=2, y=1$ オ $x=3, y=2$

[解答欄]

[解答]ウ, オ

[解説]

x, y の値を 2 元 1 次方程式に代入して、(左辺)=(右辺)が成り立つとき、その x, y は方程式の解といえる。(左辺) \neq (右辺)(等しくない)のときは解ではない。

ア $x=-2, y=-1$ のとき、(左辺) $=2x-y=2\times(-2)-(-1)=-4+1=-3\neq$ (右辺)

イ $x=-1, y=0$ のとき、(左辺) $=2x-y=2\times(-1)-0=-2\neq$ (右辺)

ウ $x=1, y=-2$ のとき、(左辺) $=2x-y=2\times 1-(-2)=4=($ 右辺)

エ $x=2, y=1$ のとき、(左辺) $=2x-y=2\times 2-1=3\neq$ (右辺)

オ $x=3, y=2$ のとき、(左辺) $=2x-y=2\times 3-2=4=($ 右辺)

よって、(左辺)=(右辺)が成り立ち、解になるのはウとオ。

[問題](1 学期期末)

次のア～エの中で、2元1次方程式 $x+2y=9$ を成り立たせる x, y の組はどれか。

ア $x=2, y=3$ イ $x=4, y=\frac{5}{2}$ ウ $x=-5, y=2$

エ $x=7, y=1$

[解答欄]

--

[解答]イ, エ

[解説]

ア $x=2, y=3$ のとき, (左辺) $= x+2y = 2+2\times 3 = 8 \neq$ (右辺)

イ $x=4, y=\frac{5}{2}$ のとき, (左辺) $= x+2y = 4+2\times \frac{5}{2} = 9 =$ (右辺)

ウ $x=-5, y=2$ のとき, (左辺) $= x+2y = -5+2\times 2 = -1 \neq$ (右辺)

エ $x=7, y=1$ のとき, (左辺) $= x+2y = 7+2\times 1 = 9 =$ (右辺)

よって, $x+2y=9$ が成り立つのはイ, エのとき。

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 次の2元1次方程式が成り立つような x, y の値の組を求め, 表の空らんをうめよ。ただし, x, y は正の整数であるとし, 正の整数にならない場合は×を入れよ。

ア $2x+y=12$

x	1	2	3	4	5	6
y						

イ $3x+2y=22$

x	1	2	3	4	5	6
y						

(2) (1)のア, イの表で共通な x, y の値の組を求めよ。

[解答欄]

(1) ア $2x+y=12$

x	1	2	3	4	5	6
y						

イ $3x+2y=22$

x	1	2	3	4	5	6
y						

(2)

--

[解答](1)ア $2x + y = 12$

x	1	2	3	4	5	6
y	10	8	6	4	2	0

イ $3x + 2y = 22$

x	1	2	3	4	5	6
y	×	8	×	5	×	2

(2) $x = 2, y = 8$

[解説]

(1) ア $2x + y = 12$ を y について解く。 $2x$ を右辺に移項して $y = -2x + 12$

$x = 1$ のとき $y = -2 \times 1 + 12 = 10$

$x = 2$ のとき $y = -2 \times 2 + 12 = 8$ …と代入していく

イ $3x + 2y = 22$ を y について解く。 $3x$ を右辺に移項して $2y = -3x + 22$, 両辺を2でわると

$y = \frac{-3x + 22}{2}$ この式に $x = 1, 2, 3 \dots$ を代入していく

(2) 一般に2元1次方程式の解は無数にある。表で求めたそれぞれ6つの解は解の一部である。しかし、異なる2つの2元1次方程式を同時に満たす解は原則として1個のみ。ア、イの表を見ると $x = 2, y = 8$ が共通する解になっている。2つの2元1次方程式を共通に満たす解を「連立方程式の解」という。

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 2元1次方程式 $x + y = 6$ が成り立つような x, y の値を求めて、次の表の空欄をうめよ。

x	0	1	2	3	4	5
y						

(2) 2元1次方程式 $2x + y = 9$ が成り立つような x, y の値を求めて、次の表の空欄をうめよ。

x	0	1	2	3	4	5
y						

(3) (1), (2)をもとにして、連立方程式 $\begin{cases} x + y = 6 \\ 2x + y = 9 \end{cases}$ を解け。

[解答欄]

(1)

x	0	1	2	3	4	5
y						

(2)

x	0	1	2	3	4	5
y						

(3)

--

[解答]

(1)

x	0	1	2	3	4	5
y	6	5	4	3	2	1

(2)

x	0	1	2	3	4	5
y	9	7	5	3	1	-1

(3) $x = 3, y = 3$

[解説]

(1) $x + y = 6$ を y について解くと, $y = -x + 6$ この式に $x = 0, 1, 2 \dots$ を代入する。

(2) $2x + y = 9$ を y について解くと, $y = -2x + 9$ この式に $x = 0, 1, 2 \dots$ を代入する。

(3) 連立方程式 $\begin{cases} x + y = 6 \\ 2x + y = 9 \end{cases}$ の解は, 2つの2元1次方程式 $x + y = 6$ と $2x + y = 9$ を同時に満

たす x, y の値である。それぞれの2元1次方程式を満たす解は無数に存在するが, 同時に満

たす解は原則として1個だけである。(1), (2)の表から $x = 3, y = 3$ が連立方程式 $\begin{cases} x + y = 6 \\ 2x + y = 9 \end{cases}$

の解になっていることがわかる。

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 2元1次方程式 $x + y = 3$ の解をすべて求めよ。ただし, 解は自然数である。

(2) 2元1次方程式 $2x + y = 5$ の解をすべて求めよ。ただし, 解は自然数である。

(3) (1), (2)から連立方程式 $\begin{cases} x + y = 3 \\ 2x + y = 5 \end{cases}$ の解を求めよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) $(x, y) = (1, 2), (2, 1)$ (2) $(x, y) = (1, 3), (2, 1)$ (3) $(x, y) = (2, 1)$

[解説]

(1) $x + y = 3$ より $y = 3 - x$

解は自然数なので、 x は 1 以上の整数

$x = 1$ のとき、 $y = 3 - 1 = 2$

$x = 2$ のとき、 $y = 3 - 2 = 1$

$x = 3$ のとき、 $y = 3 - 3 = 0$ y は自然数なので不適

$x \geq 4$ のとき $y < 0$ となるので不適

(2) $2x + y = 5$ より $y = 5 - 2x$

解は自然数なので、 x は 1 以上の整数

$x = 1$ のとき、 $y = 5 - 2 \times 1 = 3$

$x = 2$ のとき、 $y = 5 - 2 \times 2 = 1$

$x \geq 3$ のとき $y < 0$ となるので不適

(3) (1)より、 $x + y = 3$ の解は $(x, y) = (1, 2), (2, 1)$

(2)より、 $2x + y = 5$ の解は $(x, y) = (1, 3), (2, 1)$

よって、 $x + y = 3$ と $2x + y = 5$ を両方とも満たすのは $(x, y) = (2, 1)$

[問題](1 学期期末)

$3x + 2y = 17$ を成り立たせる x, y の組み合わせの中で、 x, y の値がともに自然数になる組はいくつあるか。

[解答欄]

[解答]3 組

[解説]

まず、 $3x + 2y = 17$ を y について解く。

$3x$ を右辺に移項すると、 $2y = 17 - 3x$

両辺を 2 で割ると、 $y = \frac{17 - 3x}{2}$

x は自然数なので、 $x \geq 1$

$x = 1$ のとき、 $y = \frac{17 - 3 \times 1}{2} = 7$ 適する

$x = 2$ のとき、 $y = \frac{17 - 3 \times 2}{2} = \frac{11}{2} = 5.5$ y は自然数なので不適

$x = 3$ のとき、 $y = \frac{17 - 3 \times 3}{2} = 4$ 適する

$x=4$ のとき, $y = \frac{17-3 \times 4}{2} = \frac{5}{2} = 2.5$ y は自然数なので不適

$x=5$ のとき, $y = \frac{17-3 \times 5}{2} = 1$ 適する

$x \geq 6$ のとき, $y = \frac{17-3x}{2}$ の分子 $17-3x < 0$ となるので $y < 0$ したがって不適

以上より, 自然数の解は $(x, y) = (1, 7), (3, 4), (5, 1)$ の 3 組である。

[問題](1 学期期末)

次の(1)~(3)にあてはまるものを下のア~オの中から選べ。

(1) 1 次方程式 $4x-3=5$ の解

(2) 2 元 1 次方程式 $3x+2y=21$ の解の 1 つ

(3) 連立方程式 $\begin{cases} 2x+y=8 \\ 3x-2y=5 \end{cases}$ の解

ア $x=1$ イ $x=2$ ウ $x=3, y=2$ エ $x=2, y=5$ オ $x=3, y=6$

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) イ (2) オ (3) ウ

[解説]

(1) $4x-3=5, 4x=8, x=2$ よってイ

(2) 2 元 1 次方程式 $3x+2y=21$ は, 方程式が 1 つで未知数が 2 つなので解は無数にある。ウ, エ, オをそれぞれ代入して(左辺)=(右辺)が成り立つか調べる。

ウ $x=3, y=2$ のとき, (左辺) $= 3x+2y = 3 \times 3 + 2 \times 2 = 13 \neq$ (右辺)

エ $x=2, y=5$ のとき, (左辺) $= 3x+2y = 3 \times 2 + 2 \times 5 = 16 \neq$ (右辺)

オ $x=3, y=6$ のとき, (左辺) $= 3x+2y = 3 \times 3 + 2 \times 6 = 21 =$ (右辺)

よってオが解(の 1 つ)になる。

(3) ウ, エ, オのそれぞれについて 2 つの 2 元 1 次方程式 $2x+y=8, 3x-2y=5$ に代入して(左辺)=(右辺)が成り立つか調べる。2 つとも(左辺)=(右辺)が成り立つとき解になる。

ウ $x=3, y=2$ のとき $2x+y=8$ について(左辺) $= 2x+y = 2 \times 3 + 2 = 8 =$ (右辺)

$3x-2y=5$ について(左辺) $= 3x-2y = 3 \times 3 - 2 \times 2 = 5 =$ (右辺)

よって $x=3, y=2$ は $2x+y=8, 3x-2y=5$ の両方を満たす。よって解となる。連立方程式の解は 1 つなので, エ, オは解ではない。

[問題](1 学期期末)

次の式の中で、2元1次方程式には○を、そうでない式には×をつけよ。

- ① $x+2y=5$ ② $x+2=5x-3$ ③ x^2-3x+2 ④ $y=5x+2$ ⑤ $6x+7y$

[解答欄]

①	②	③
④	⑤	

[解答]① ○ ② × ③ × ④ ○ ⑤ ×

[解説]

「2元1次方程式」の2元とは未知数が2つということで、1次方程式とは1次式で構成された方程式ということである。①と④が2元1次方程式である。②は未知数が x 1つであるので1元1次方程式である。③と⑤は等式の形になっておらず方程式ではない。

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 式 $x+2y=4$ のように、2種類の文字についての1次方程式を何というか。
(2) $x+2y=4$, $2x+3y=7$ の両方の式を成り立たせる x , y の値の組を求めよ。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 2元1次方程式 (2) $x=2$, $y=1$

[解説]

(1) 「2元1次方程式」の2元とは未知数が2つということで、1次方程式とは1次式で構成された方程式ということである。 $x+2y=4$ の未知数は x , y の2つ。

(2) 代入法で解く。 $x+2y=4$ より $x=-2y+4$ これを $2x+3y=7$ に代入すると、
 $2(-2y+4)+3y=7$, $-4y+8+3y=7$, $-y=-1$, $y=1$ $y=1$ を $x=-2y+4$ に代入すると、
 $x=-2\times 1+4=2$ ゆえに $x=2$, $y=1$

【】 加減法

[そのまま加減]

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x + y = 7 \\ x - y = 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 4, y = 3$

[解説]

$$\begin{cases} x + y = 7 \cdots \text{①} \\ x - y = 1 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために①+②

$$\begin{array}{r} x + y = 7 \\ +) \ x - y = 1 \quad \text{ゆえに } x = 8 \div 2 = 4 \\ \hline 2x = 8 \end{array}$$

$x = 4$ を①に代入すると、 $4 + y = 7, y = 3$

よって、 $x = 4, y = 3$

連立方程式の解の書き方は、 $x = 4, y = 3, \begin{cases} x = 4 \\ y = 3 \end{cases}, (x, y) = (4, 3)$ の 3 通りがあるが、以下では、 $x = 4, y = 3$ という書き方を使う。

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x + y = 5 \\ x - y = 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 3, y = 2$

[解説]

$$\begin{cases} x + y = 5 \cdots \text{①} \\ x - y = 1 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために①+②で、

$$\begin{array}{r} x + y = 5 \\ +) x - y = 1 \\ \hline 2x = 6 \end{array}$$

ゆえに, $x = 3$

①に $x = 3$ を代入すると, $3 + y = 5$, $y = 2$

よって, $x = 3$, $y = 2$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 4x + y = 14 \\ 2x + y = 10 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 2$, $y = 6$

[解説]

$$\begin{cases} 4x + y = 14 \cdots \text{①} \\ 2x + y = 10 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために①−②

$$\begin{array}{r} 4x + y = 14 \\ -) 2x + y = 10 \quad \text{ゆえに } x = 4 \div 2 = 2 \\ \hline 2x = 4 \end{array}$$

$x = 2$ を②に代入すると, $2 \times 2 + y = 10$, $4 + y = 10$, $y = 6$

よって, $x = 2$, $y = 6$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x + 2y = 23 \\ 5x + 2y = 29 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 3$, $y = 7$

【解説】

$$\begin{cases} 3x + 2y = 23 \cdots \text{①} \\ 5x + 2y = 29 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。yを消去するために①-②

$$\begin{array}{r} 3x + 2y = 23 \\ -) \quad 5x + 2y = 29 \quad \text{ゆえに } x = (-6) \div (-2) = 3 \\ \hline -2x \quad = -6 \end{array}$$

x=3を①に代入すると、 $3 \times 3 + 2y = 23$, $9 + 2y = 23$, $2y = 14$, $y = 7$

よって、 $x = 3$, $y = 7$

【問題】(2学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x + 2y = 5 \\ x - 2y = 7 \end{cases}$$

【解答欄】

【解答】 $x = 3$, $y = -2$

【解説】

$$\begin{cases} 3x + 2y = 5 \cdots \text{①} \\ x - 2y = 7 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。yを消去するために①+②

$$\begin{array}{r} 3x + 2y = 5 \\ +) \quad x - 2y = 7 \quad \text{ゆえに } x = 12 \div 4 = 3 \\ \hline 4x \quad = 12 \end{array}$$

x=3を①に代入すると、 $3 \times 3 + 2y = 5$, $9 + 2y = 5$, $2y = -4$, $y = -2$

よって、 $x = 3$, $y = -2$

【問題】(1学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x + 9y = 4 \\ -2x - 6y = 2 \end{cases}$$

【解答欄】

[解答] $x = -7$ $y = 2$

[解説]

$$\begin{cases} 2x + 9y = 4 & \cdots \textcircled{1} \\ -2x - 6y = 2 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x を消去するために $\textcircled{1} + \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} 2x + 9y = 4 \\ +) -2x - 6y = 2 \\ \hline 3y = 6 \end{array} \quad \text{ゆえに } y = 6 \div 3 = 2$$

$y = 2$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $2x + 9 \times 2 = 4$, $2x + 18 = 4$, $2x = -14$, $x = -7$
よって, $x = -7$, $y = 2$

[1 つの式を何倍かして係数を合わせる]

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x + 2y = 7 \\ x + y = 3 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 1$, $y = 2$

[解説]

$$\begin{cases} 3x + 2y = 7 & \cdots \textcircled{1} \\ x + y = 3 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を 2 にそろえるために $\textcircled{2} \times 2$

$$\begin{cases} 3x + 2y = 7 & \cdots \textcircled{1} \\ 2x + 2y = 6 & \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

y を消去するために $\textcircled{1} - \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 3x + 2y = 7 \\ -) 2x + 2y = 6 \\ \hline x = 1 \end{array} \quad \text{ゆえに } x = 1$$

$x = 1$ を $\textcircled{2}$ に代入すると, $1 + y = 3$, $y = 2$

よって, $x = 1$, $y = 2$

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x+3y=5 \\ x+2y=4 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=-2, y=3$

[解説]

$$\begin{cases} 2x+3y=5 \cdots \textcircled{1} \\ x+2y=4 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x を消去するために $\textcircled{1}-\textcircled{2} \times 2$

$$\begin{array}{r} 2x+3y=5 \\ -) 2x+4y=8 \\ \hline -y=-3 \end{array}$$

ゆえに、 $y=3$ $\textcircled{2}$ に $y=3$ を代入すると、 $x+2 \times 3=4, x+6=4, x=-2$

よって、 $x=-2, y=3$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 6x+7y=8 \\ 3x+2y=4 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=\frac{4}{3}, y=0$

[解説]

$$\begin{cases} 6x+7y=8 \cdots \textcircled{1} \\ 3x+2y=4 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を 6 にそろえるために $\textcircled{2} \times 2$

$$\begin{cases} 6x+7y=8 \cdots \textcircled{1} \\ 6x+4y=8 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

x を消去するために $\textcircled{1}-\textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 6x+7y=8 \\ -) 6x+4y=8 \\ \hline 3y=0 \end{array} \quad \text{ゆえに } y=0 \div 3=0$$

$y=0$ を②に代入すると、 $3x+0=4$, $x=\frac{4}{3}$

よって、 $x=\frac{4}{3}$, $y=0$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x+2y=1 \\ -2x+y=8 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=-3$, $y=2$

[解説]

$$\begin{cases} x+2y=1 \quad \cdots\text{①} \\ -2x+y=8 \quad \cdots\text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を2にそろえるために② \times 2

$$\begin{cases} x+2y=1 \quad \cdots\text{①} \\ -4x+2y=16 \quad \cdots\text{②}' \end{cases}$$

y を消去するために① $-$ ②'

$$\begin{array}{r} x+2y=1 \\ -) -4x+2y=16 \\ \hline 5x \quad = -15 \end{array} \quad \text{ゆえに } x = -15 \div 5 = -3$$

$x=-3$ を①に代入すると、 $-3+2y=1$, $2y=4$, $y=2$

よって、 $x=-3$, $y=2$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 6x-y=1 \\ 3x-2y=-7 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=1$, $y=5$

[解説]

$$\begin{cases} 6x - y = 1 & \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 2y = -7 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。yの係数の絶対値を2にそろえるために①×2

$$\begin{cases} 12x - 2y = 2 & \cdots \textcircled{1}' \\ 3x - 2y = -7 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

yを消去するために①'-②

$$\begin{array}{r} 12x - 2y = 2 \\ -) \quad 3x - 2y = -7 \quad \text{ゆえに } x = 9 \div 9 = 1 \\ \hline 9x = 9 \end{array}$$

x=1を①に代入すると、6×1-y=1、-y=-5、y=5

よって、x=1、y=5

[問題](2学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x + y = -5 \\ 3x - 2y = -4 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] x=-2, y=-1

[解説]

$$\begin{cases} 2x + y = -5 & \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 2y = -4 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。yの係数の絶対値を2にそろえるために①×2

$$\begin{cases} 4x + 2y = -10 & \cdots \textcircled{1}' \\ 3x - 2y = -4 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

yを消去するために①'+②

$$\begin{array}{r} 4x + 2y = -10 \\ +) \quad 3x - 2y = -4 \quad \text{ゆえに } x = (-14) \div 7 = -2 \\ \hline 7x = -14 \end{array}$$

x=-2を①に代入して、2×(-2)+y=-5、-4+y=-5、y=-1

よって、x=-2、y=-1

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 5x - 6y = 7 \\ 3x - 2y = 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -1, y = -2$

[解説]

$$\begin{cases} 5x - 6y = 7 \cdots \text{①} \\ 3x - 2y = 1 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を 6 にそろえるために②×3

$$\begin{cases} 5x - 6y = 7 \cdots \text{①} \\ 9x - 6y = 3 \cdots \text{②}' \end{cases}$$

y を消去するために①−②'

$$\begin{array}{r} 5x - 6y = 7 \\ -) \underline{9x - 6y = 3} \quad \text{ゆえに } x = 4 \div (-4) = -1 \\ \hline -4x \quad = 4 \end{array}$$

$x = -1$ を②に代入すると、 $3 \times (-1) - 2y = 1, -3 - 2y = 1, -2y = 4, y = -2$

よって、 $x = -1, y = -2$

[両方の式をそれぞれ何倍かして係数を合わせる]

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x + 5y = 9 \\ 3x - 2y = 4 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 2, y = 1$

[解説]

$$\begin{cases} 2x + 5y = 9 \cdots \text{①} \\ 3x - 2y = 4 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。 x を消去するために、①×3−②×2

$$6x + 15y = 27$$

$$\begin{array}{r} \rightarrow 6x - 4y = 8 \quad \text{よって } y = 1 \\ \hline 19y = 19 \end{array}$$

①に $y = 1$ を代入すると、 $2x + 5 \times 1 = 9$, $2x = 4$, $x = 2$
よって、 $x = 2$, $y = 1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 7x - 5y = 17 \\ 8x + 3y = 63 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 6$, $y = 5$

[解説]

$$\begin{cases} 7x - 5y = 17 \cdots \text{①} \\ 8x + 3y = 63 \cdots \text{②} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を 15 にそろえるために① $\times 3$, ② $\times 5$

$$\begin{cases} 21x - 15y = 51 \cdots \text{①}' \\ 40x + 15y = 315 \cdots \text{②}' \end{cases}$$

y を消去するために①' + ②'

$$21x - 15y = 51$$

$$\begin{array}{r} +) 40x + 15y = 315 \quad \text{ゆえに } x = 366 \div 61 = 6 \\ \hline 61x \quad = 366 \end{array}$$

$x = 6$ を②'に代入すると、 $8 \times 6 + 3y = 63$, $48 + 3y = 63$, $3y = 15$, $y = 5$
よって、 $x = 6$, $y = 5$

[問題](2 学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 4x - 7y = -6 \\ 6x + 2y = -9 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -\frac{3}{2}, y = 0$

[解説]

$$\begin{cases} 4x - 7y = -6 \cdots \textcircled{1} \\ 6x + 2y = -9 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。yの係数の絶対値を14にそろえるために①×2, ②×7

$$\begin{cases} 8x - 14y = -12 \cdots \textcircled{1}' \\ 42x + 14y = -63 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

yを消去するために①'+②'

$$\begin{array}{r} 8x - 14y = -12 \\ +) 42x + 14y = -63 \\ \hline 50x \quad = -75 \end{array} \quad \text{ゆえに } x = -75 \div 50 = -\frac{75}{50} = -\frac{3}{2}$$

$x = -\frac{3}{2}$ を②に代入すると, $6 \times \left(-\frac{3}{2}\right) + 2y = -9, -9 + 2y = -9, 2y = 0, y = 0$

よって, $x = -\frac{3}{2}, y = 0$

[問題](1学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 4x + 3y = -5 \\ 7x + 2y = 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 1, y = -3$

[解説]

$$\begin{cases} 4x + 3y = -5 \cdots \textcircled{1} \\ 7x + 2y = 1 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。yの係数の絶対値を6にそろえるために①×2, ②×3

$$\begin{cases} 8x + 6y = -10 \cdots \textcircled{1}' \\ 21x + 6y = 3 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

yを消去するために①'-②'

$$\begin{array}{r} 8x + 6y = -10 \\ -) 21x + 6y = 3 \\ \hline -13x \quad = -13 \end{array} \quad \text{ゆえに } x = (-13) \div (-13) = 1$$

$x = 1$ を②に代入すると, $7 \times 1 + 2y = 1, 7 + 2y = 1, 2y = -6, y = -3$

よって, $x = 1, y = -3$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x - 5y = 9 \\ 3x - 4y = 10 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 2, y = -1$

[解説]

$$\begin{cases} 2x - 5y = 9 \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 4y = 10 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を 6 にそろえるために $\textcircled{1} \times 3, \textcircled{2} \times 2$

$$\begin{cases} 6x - 15y = 27 \cdots \textcircled{1}' \\ 6x - 8y = 20 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

x を消去するために $\textcircled{1}' - \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 6x - 15y = 27 \\ -) \quad 6x - 8y = 20 \quad \text{ゆえに } y = 7 \div (-7) = -1 \\ \hline -7y = 7 \end{array}$$

$y = -1$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $2x - 5 \times (-1) = 9, 2x + 5 = 9, 2x = 4, x = 2$
よって, $x = 2, y = -1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} -6x + 5y = 8 \\ 4x + 3y = 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -\frac{1}{2}, y = 1$

[解説]

$$\begin{cases} -6x + 5y = 8 \cdots \textcircled{1} \\ 4x + 3y = 1 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を 12 にそろえるために $\textcircled{1} \times 2, \textcircled{2} \times 3$

$$\begin{cases} -12x+10y=16 \cdots \textcircled{1}' \\ 12x+9y=3 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

x を消去するために①'+②'

$$-12x+10y=16$$

$$+) \underline{12x+9y=3} \quad \text{ゆえに } y=19 \div 19=1$$

$$19y=19$$

$y=1$ を②に代入すると, $4x+3 \times 1=1$, $4x+3=1$, $4x=-2$, $x=-\frac{2}{4}=-\frac{1}{2}$

よって, $x=-\frac{1}{2}$, $y=1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x-4y=-15 \\ 2x+3y=7 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=-1$, $y=3$

[解説]

$$\begin{cases} 3x-4y=-15 \cdots \textcircled{1} \\ 2x+3y=7 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を6にそろえるために① $\times 2$, ② $\times 3$

$$\begin{cases} 6x-8y=-30 \cdots \textcircled{1}' \\ 6x+9y=21 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

x を消去するために①'-②'

$$6x-8y=-30$$

$$-) \underline{6x+9y=21} \quad \text{ゆえに } y=(-51) \div (-17)=3$$

$$-17y=-51$$

$y=3$ を②に代入すると, $2x+3 \times 3=7$, $2x+9=7$, $2x=-2$, $x=-1$

よって, $x=-1$, $y=3$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 5x - 4y - 3 = 0 \\ 3x + 2y + 7 = 0 \end{cases}$$

[解答欄]

--

[解答] $x = -1, y = -2$

[解説]

$$\begin{cases} 5x - 4y - 3 = 0 \cdots \textcircled{1} \\ 3x + 2y + 7 = 0 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。 y の係数の絶対値を 4 にそろえるために $\textcircled{2} \times 2$

$$\begin{cases} 5x - 4y - 3 = 0 \cdots \textcircled{1} \\ 6x + 4y + 14 = 0 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

y を消去するために $\textcircled{1} + \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 5x - 4y - 3 = 0 \\ +) \underline{6x + 4y + 14 = 0} \quad 11x = -11, x = -1 \\ 11x \quad +11 = 0 \end{array}$$

$x = -1$ を $\textcircled{2}$ に代入すると,

$$3 \times (-1) + 2y + 7 = 0, -3 + 2y + 7 = 0, 2y = -4, y = -2$$

よって, $x = -1, y = -2$

[加減法全般]

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} x + y = -1 \\ x - y = 5 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 6x + 2y = 24 \\ 3x + 2y = 15 \end{cases}$$

$$(3) \begin{cases} 3x + y = 2 \\ 5x + 4y = -13 \end{cases}$$

$$(4) \begin{cases} 7x - 5y = -2 \\ 5x + 4y = -9 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	(4)

[解答](1) $x = 2, y = -3$ (2) $x = 3, y = 3$ (3) $x = 3, y = -7$

(4) $x = -1, y = -1$

【解説】

$$(1) \begin{cases} x + y = -1 \cdots \textcircled{1} \\ x - y = 5 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために $\textcircled{1} + \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} x + y = -1 \\ +) \quad x - y = 5 \quad \text{ゆえに } x = 4 \div 2 = 2 \\ \hline 2x = 4 \end{array}$$

$x = 2$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $2 + y = -1$, $y = -3$

よって, $x = 2$, $y = -3$

$$(2) \begin{cases} 6x + 2y = 24 \cdots \textcircled{1} \\ 3x + 2y = 15 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために $\textcircled{1} - \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} 6x + 2y = 24 \\ -) \quad 3x + 2y = 15 \quad \text{ゆえに } x = 9 \div 3 = 3 \\ \hline 3x = 9 \end{array}$$

$x = 3$ を $\textcircled{2}$ に代入すると,

$3 \times 3 + 2y = 15$, $9 + 2y = 15$, $2y = 6$, $y = 3$

よって, $x = 3$, $y = 3$

$$(3) \begin{cases} 3x + y = 2 \cdots \textcircled{1} \\ 5x + 4y = -13 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を 4 にあわせるために $\textcircled{1} \times 4$

$$\begin{cases} 12x + 4y = 8 \cdots \textcircled{1}' \\ 5x + 4y = -13 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

y を消去するために $\textcircled{1}' - \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} 12x + 4y = 8 \\ -) \quad 5x + 4y = -13 \quad \text{ゆえに } x = 21 \div 7 = 3 \\ \hline 7x = 21 \end{array}$$

$x = 3$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $3 \times 3 + y = 2$, $9 + y = 2$, $y = -7$

よって, $x = 3$, $y = -7$

$$(4) \begin{cases} 7x - 5y = -2 \cdots \textcircled{1} \\ 5x + 4y = -9 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を 20 にそろえるために $\textcircled{1} \times 4$, $\textcircled{2} \times 5$

$$\begin{cases} 28x - 20y = -8 \cdots \textcircled{1} \\ 25x + 20y = -45 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

y を消去するために①'+②'

$$28x - 20y = -8$$

$$+) \quad \underline{25x + 20y = -45} \quad \text{ゆえに } x = -53 \div 53 = -1$$

$$53x = -53$$

$$x = -1 \text{ を } \textcircled{2} \text{ に代入すると, } 5 \times (-1) + 4y = -9, -5 + 4y = -9, 4y = -4, y = -1$$

よって, $x = -1, y = -1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} 2x + y = 1 \\ x + y = 3 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 4x - 5y = 6 \\ 2x - 3y = 2 \end{cases}$$

$$(3) \begin{cases} 8x - 3y = 2 \\ 3x + 4y = 11 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) $x = -2, y = 5$ (2) $x = 4, y = 2$ (3) $x = 1, y = 2$

[解説]

$$(1) \begin{cases} 2x + y = 1 \cdots \textcircled{1} \\ x + y = 3 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

$$2x + y = 1$$

加減法で解く。 y を消去するために①-②で, $-) \quad \underline{x + y = 3}$

$$x = -2$$

$$x = -2 \text{ を } \textcircled{2} \text{ に代入すると, } -2 + y = 3, y = 3 + 2, y = 5$$

よって, $x = -2, y = 5$

$$(2) \begin{cases} 4x - 5y = 6 \cdots \textcircled{1} \\ 2x - 3y = 2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数を4にそろえるために②×2で, $\begin{cases} 4x - 5y = 6 \cdots \textcircled{1}' \\ 4x - 6y = 4 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$

$$4x - 5y = 6$$

$$\textcircled{1}' - \textcircled{2}' \text{で } x \text{ を消去する。 } \begin{array}{r} -) 4x - 6y = 4 \\ \hline y = 2 \end{array}$$

$y = 2$ を $\textcircled{2}$ に代入すると, $2x - 3 \times 2 = 2$, $2x - 6 = 2$, $2x = 2 + 6$, $2x = 8$, $x = 4$

よって, $x = 4$, $y = 2$

$$(3) \begin{cases} 8x - 3y = 2 \cdots \textcircled{1} \\ 3x + 4y = 11 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数を 12 にそろえるために, $\textcircled{1} \times 4$, $\textcircled{2} \times 3$

$$\begin{cases} 32x - 12y = 8 \cdots \textcircled{1}' \\ 9x + 12y = 33 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

$$32x - 12y = 8$$

$$\textcircled{1}' + \textcircled{2}' \text{で } y \text{ を消去すると, } \begin{array}{r} +) 9x + 12y = 33 \\ \hline 41x \quad = 41 \end{array} \quad \text{よって, } x = 41 \div 41 = 1$$

$x = 1$ を $\textcircled{2}$ に代入すると, $3 \times 1 + 4y = 11$, $4y = 11 - 3$, $4y = 8$, $y = 2$

よって, $x = 1$, $y = 2$

[問題](2 学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} 2x + y = 5 \\ 3x - 2y = 18 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 2x + 3y = 3 \\ -3x + 8y = -17 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $x = 4$, $y = -3$ (2) $x = 3$, $y = -1$

[解説]

$$(1) \begin{cases} 2x + y = 5 \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 2y = 18 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を 2 にそろえるために $\textcircled{1} \times 2$

$$\begin{cases} 4x + 2y = 10 \cdots \textcircled{1}' \\ 3x - 2y = 18 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

y を消去するために $\textcircled{1}' + \textcircled{2}$

$$4x + 2y = 10$$

$$+) \begin{array}{r} 3x - 2y = 18 \\ \hline 7x \quad = 28 \end{array} \quad \text{ゆえに } x = 28 \div 7 = 4$$

$$7x = 28$$

$x = 4$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $2 \times 4 + y = 5$, $8 + y = 5$, $y = -3$

よって, $x = 4$, $y = -3$

$$(2) \begin{cases} 2x+3y=3 & \cdots\textcircled{1} \\ -3x+8y=-17 & \cdots\textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を 6 にそろえるために $\textcircled{1} \times 3$, $\textcircled{2} \times 2$

$$\begin{cases} 6x+9y=9 & \cdots\textcircled{1}' \\ -6x+16y=-34 & \cdots\textcircled{2}' \end{cases}$$

y を消去するために $\textcircled{1}' + \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 6x+9y=9 \\ +) -6x+16y=-34 \\ \hline 25y=-25 \end{array} \quad \text{ゆえに } y = (-25) \div 25 = -1$$

$y = -1$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $2x+3 \times (-1) = 3$, $2x-3=3$, $2x=6$, $x=3$
よって, $x=3$, $y=-1$

【】 代入法

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} y = 2x - 1 \\ 4x - y = 2 \end{cases}$$

【解答欄】

[解答] $x = \frac{1}{2}, y = 0$

【解説】

$$\begin{cases} y = 2x - 1 \cdots \text{①} \\ 4x - y = 2 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

①の y を②の y に代入すると、

$$4x - (2x - 1) = 2, 4x - 2x + 1 = 2, 2x = 1, x = \frac{1}{2}$$

$$x = \frac{1}{2} \text{ を①に代入すると, } y = 2 \times \frac{1}{2} - 1 = 0 \text{ よって, } x = \frac{1}{2}, y = 0$$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} y = 2x - 3 \\ 5x - 4y = 6 \end{cases}$$

【解答欄】

[解答] $x = 2, y = 1$

【解説】

$$\begin{cases} y = 2x - 3 \cdots \text{①} \\ 5x - 4y = 6 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

①の y を②の y に代入すると、

$$5x - 4(2x - 3) = 6, 5x - 8x + 12 = 6, -3x = -6, x = 2$$

$$x = 2 \text{ を①に代入すると, } y = 2 \times 2 - 3 = 1$$

よって、 $x = 2, y = 1$

[問題](2 学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} y = 5 + x \\ 5x - 2y = 2 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 4, y = 9$

[解説]

$$\begin{cases} y = 5 + x & \cdots \textcircled{1} \\ 5x - 2y = 2 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。①の y を②の y に代入すると、

$$5x - 2(5 + x) = 2, 5x - 10 - 2x = 2, 3x = 12, x = 4$$

$$x = 4 \text{ を①に代入すると, } y = 6 + 4 = 9$$

よって, $x = 4, y = 9$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} y = -x + 6 \\ 2x - y = 9 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 5, y = 1$

[解説]

$$\begin{cases} y = -x + 6 & \cdots \textcircled{1} \\ 2x - y = 9 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim, x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

①の y を②の y に代入すると、

$$2x - (-x + 6) = 9, 2x + x - 6 = 9, 3x = 15, x = 5$$

$$x = 5 \text{ を①に代入すると, } y = -5 + 6 = 1$$

よって, $x = 5, y = 1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x + y = 8 \\ x = y + 2 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 5, y = 3$

[解説]

$$\begin{cases} x + y = 8 \cdots \text{①} \\ x = y + 2 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

②の x を①に代入すると,

$$(y + 2) + y = 8, 2y = 6, y = 3$$

$y = 3$ を②に代入すると, $x = 3 + 2 = 5$

よって, $x = 5, y = 3$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x = 2y - 3 \\ 4x = 3y + 8 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 5, y = 4$

[解説]

$$\begin{cases} x = 2y - 3 \cdots \text{①} \\ 4x = 3y + 8 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

①の x を②の x に代入すると,

$$4(2y - 3) = 3y + 8, 8y - 12 = 3y + 8, 5y = 20, y = 4$$

$y = 4$ を①に代入すると, $x = 2 \times 4 - 3 = 5$

よって, $x = 5, y = 4$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x = 2y - 1 \\ 3y + 2x = 5 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 1, y = 1$

[解説]

$$\begin{cases} x = 2y - 1 \cdots \text{①} \\ 3y + 2x = 5 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim, x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

①の x を②の x に代入すると, $3y + 2(2y - 1) = 5, 3y + 4y - 2 = 5, 7y = 7, y = 1$

$y = 1$ を①に代入すると, $x = 2 \times 1 - 1 = 1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x - 4y = -17 \\ x = -2y + 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -3, y = 2$

[解説]

$$\begin{cases} 3x - 4y = -17 \cdots \text{①} \\ x = -2y + 1 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim, x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

②の x を①の x に代入すると,

$$3(-2y + 1) - 4y = -17, -6y + 3 - 4y = -17, -10y = -20, y = 2$$

$y = 2$ を②に代入すると, $x = -2 \times 2 + 1 = -3$

よって, $x = -3, y = 2$

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x+3y=11 \\ y=3x-13 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=5, y=2$

[解説]

$$\begin{cases} x+3y=11 \cdots \textcircled{1} \\ y=3x-13 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。($y=\sim, x=\sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

②の y を①の y に代入すると,

$$x+3(3x-13)=11, x+9x-39=11, 10x=50, x=5$$

$x=5$ を②に代入すると, $y=3 \times 5 - 13 = 2$ よって, $x=5, y=2$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} y=2x-8 \\ y=-3x+7 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=3, y=-2$

[解説]

$$\begin{cases} y=2x-8 \cdots \textcircled{1} \\ y=-3x+7 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。($y=\sim, x=\sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

①の y を②の y に代入すると,

$$2x-8=-3x+7, 5x=15, x=3$$

$x=3$ を①に代入すると, $y=2 \times 3 - 8 = -2$

よって, $x=3, y=-2$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x - 2y = 12 \\ 2y = x - 8 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 2, y = -3$

[解説]

$$\begin{cases} 3x - 2y = 12 \cdots \text{①} \\ 2y = x - 8 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。

②の $2y$ を①の $2y$ に代入すると、

$$3x - (x - 8) = 12, 3x - x + 8 = 12, 2x = 4, x = 2$$

$$x = 2 \text{ を②に代入すると, } 2y = 2 - 8, 2y = -6, y = -3$$

よって、 $x = 2, y = -3$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x + 5y = -15 \\ 3x = 3 - 2y \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 5, y = -6$

[解説]

$$\begin{cases} 3x + 5y = -15 \cdots \text{①} \\ 3x = 3 - 2y \cdots \text{②} \end{cases}$$

$3x$ が共通にあることに注目して代入法で解く(加減法も可)。

②の $3x$ を①の $3x$ に代入すると、

$$3 - 2y + 5y = -15, 3y = -18, y = -6$$

$$y = -6 \text{ を②に代入すると, } 3x = 3 - 2 \times (-6), 3x = 15, x = 5$$

よって、 $x = 5, y = -6$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x+2y=11 \\ 2x+3y=x-y+7 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=3, y=1$

[解説]

$$\begin{cases} 3x+2y=11 & \cdots\text{①} \\ 2x+3y=x-y+7 & \cdots\text{②} \end{cases}$$

まず②の式を整理する。

$$2x+3y=x-y+7, 2x+3y-x+y=7, x+4y=7 \cdots\text{②}'$$

代入法で解く(加減法でも可)。

$$\text{②}'\text{より, } x=7-4y \cdots\text{②}''$$

これを①の x に代入すると,

$$3(7-4y)+2y=11, 21-12y+2y=11, -10y=-10, y=1$$

$$y=1\text{を②}''\text{に代入すると, } x=7-4\times 1=3$$

よって, $x=3, y=1$

【】 加減法と代入法

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} 2x - 7y = 9 \\ 3x - 2y = 5 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} y = 2x - 3 \\ x - 3y = 4 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $x=1, y=-1$ (2) $x=1, y=-1$

[解説]

$$(1) \begin{cases} 2x - 7y = 9 \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 2y = 5 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。

x の係数の絶対値を 6 にそろえるために $\textcircled{1} \times 3$, $\textcircled{2} \times 2$

$$\begin{cases} 6x - 21y = 27 \cdots \textcircled{1}' \\ 6x - 4y = 10 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

y を消去するために $\textcircled{1}' - \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 6x - 21y = 27 \\ -) \quad 6x - 4y = 10 \quad \text{ゆえに } y = 17 \div (-17) = -1 \\ \hline -17y = 17 \end{array}$$

$y = -1$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $2x - 7 \times (-1) = 9$, $2x + 7 = 9$, $2x = 2$, $x = 1$

よって, $x = 1, y = -1$

$$(2) \begin{cases} y = 2x - 3 \cdots \textcircled{1} \\ x - 3y = 4 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

$\textcircled{1}$ の y を $\textcircled{2}$ の y に代入すると,

$$x - 3(2x - 3) = 4, \quad x - 6x + 9 = 4, \quad -5x = -5, \quad x = 1$$

$x = 1$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $y = 2 \times 1 - 3 = -1$

よって, $x = 1, y = -1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} x-4y=-10 \\ 2x+3y=13 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} -6x+5y=8 \\ 4x+3y=1 \end{cases}$$

$$(3) \begin{cases} 5x+2y=4 \\ x=y+5 \end{cases}$$

$$(4) \begin{cases} x=3y+1 \\ x-2y=3 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	(4)

[解答](1) $x=2, y=3$ (2) $x=-\frac{1}{2}, y=1$ (3) $x=2, y=-3$

(4) $x=7, y=2$

[解説]

$$(1) \begin{cases} x-4y=-10 \cdots \textcircled{1} \\ 2x+3y=13 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を2にそろえるために $\textcircled{1} \times 2$

$$\begin{cases} 2x-8y=-20 \cdots \textcircled{1}' \\ 2x+3y=13 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

x を消去するために $\textcircled{1}' - \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} 2x-8y=-20 \\ -) \underline{2x+3y=13} \quad \text{ゆえに } y = (-33) \div (-11) = 3 \\ \hline -11y = -33 \end{array}$$

$y=3$ を $\textcircled{1}$ に代入すると、 $x-4 \times 3 = -10, x-12 = -10, x=2$

よって、 $x=2, y=3$

$$(2) \begin{cases} -6x+5y=8 \cdots \textcircled{1} \\ 4x+3y=1 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を12にそろえるために $\textcircled{1} \times 2, \textcircled{2} \times 3$

$$\begin{cases} -12x+10y=16 \cdots \textcircled{1}' \\ 12x+9y=3 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

x を消去するために $\textcircled{1}' + \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} -12x+10y=16 \\ +) \underline{12x+9y=3} \quad \text{ゆえに } y = 19 \div 19 = 1 \\ \hline 19y = 19 \end{array}$$

$$y=1 \text{を②に代入すると, } 4x+3 \times 1=1, 4x=-2, x=-\frac{1}{2}$$

$$\text{よって, } x=-\frac{1}{2}, y=1$$

$$(3) \begin{cases} 5x+2y=4 \cdots \text{①} \\ x=y+5 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。(y=~, x=~という式があるときは代入法が計算しやすい)

②のxを①のxに代入すると,

$$5(y+5)+2y=4, 5y+25+2y=4, 7y=-21, y=-3$$

$$y=-3 \text{を②に代入すると, } x=-3+5=2$$

$$\text{よって, } x=2, y=-3$$

$$(4) \begin{cases} x=3y+1 \cdots \text{①} \\ x-2y=3 \cdots \text{②} \end{cases}$$

代入法で解く。(y=~, x=~という式があるときは代入法が計算しやすい)

①のxを②のxに代入すると,

$$(3y+1)-2y=3, 3y+1-2y=3, y=2$$

$$y=2 \text{を①に代入すると, } x=3 \times 2+1=7$$

$$\text{よって, } x=7, y=2$$

[問題](1 学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} 3x+2y=23 \\ 5x+2y=29 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} y=2x-3 \\ 5x-4y=6 \end{cases}$$

$$(3) \begin{cases} 7x-2y=29 \\ -2x+y=-10 \end{cases}$$

$$(4) \begin{cases} 3x-4y=-15 \\ 2x+3y=7 \end{cases}$$

$$(5) \begin{cases} 5x+2y=4 \\ x=y+5 \end{cases}$$

$$(6) \begin{cases} 3x-2y=12 \\ 2y=x-8 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	(6)

[解答](1) $x=3, y=7$ (2) $x=2, y=1$ (3) $x=3, y=-4$ (4) $x=-1, y=3$
(5) $x=2, y=-3$ (6) $x=2, y=-3$

[解説]

$$(1) \begin{cases} 3x+2y=23 \cdots \textcircled{1} \\ 5x+2y=29 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために $\textcircled{1}-\textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} 3x+2y=23 \\ -) \quad 5x+2y=29 \quad \text{ゆえに } x=(-6) \div (-2)=3 \\ \hline -2x \quad =-6 \end{array}$$

$x=3$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $3 \times 3 + 2y = 23$, $9 + 2y = 23$, $2y = 14$, $y = 7$
よって, $x=3, y=7$

$$(2) \begin{cases} y=2x-3 \cdots \textcircled{1} \\ 5x-4y=6 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

$\textcircled{1}$ の y を $\textcircled{2}$ の y に代入すると,

$$5x - 4(2x - 3) = 6, \quad 5x - 8x + 12 = 6, \quad -3x = -6, \quad x = 2$$

$x=2$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $y = 2 \times 2 - 3 = 1$

よって, $x=2, y=1$

$$(3) \begin{cases} 7x-2y=29 \cdots \textcircled{1} \\ -2x+y=-10 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数の絶対値を 2 にそろえるために $\textcircled{2} \times 2$

$$\begin{cases} 7x-2y=29 \cdots \textcircled{1} \\ -4x+2y=-20 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

y を消去するために $\textcircled{1} + \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 7x-2y=29 \\ +) \quad -4x+2y=-20 \quad \text{ゆえに } x=9 \div 3=3 \\ \hline 3x \quad =9 \end{array}$$

$x=3$ を $\textcircled{2}$ に代入すると, $-2 \times 3 + y = -10$, $-6 + y = -10$, $y = -4$

よって $x=3, y=-4$

$$(4) \begin{cases} 3x-4y=-15 \cdots \textcircled{1} \\ 2x+3y=7 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を 6 にそろえるために $\textcircled{1} \times 2$, $\textcircled{2} \times 3$

$$\begin{cases} 6x - 8y = -30 \cdots \textcircled{1} \\ 6x + 9y = 21 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

x を消去するために $\textcircled{1} - \textcircled{2}$

$$6x - 8y = -30$$

$$-) \underline{6x + 9y = 21} \quad \text{ゆえに } y = (-51) \div (-17) = 3$$

$$-17y = -51$$

$y = 3$ を $\textcircled{2}$ に代入すると, $2x + 3 \times 3 = 7$, $2x + 9 = 7$, $2x = -2$, $x = -1$

よって, $x = -1$, $y = 3$

$$(5) \begin{cases} 5x + 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \\ x = y + 5 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

$\textcircled{2}$ の x を $\textcircled{1}$ の x に代入すると,

$$5(y + 5) + 2y = 4, 5y + 25 + 2y = 4, 7y = -21, y = -3$$

$y = -3$ を $\textcircled{2}$ に代入すると, $x = -3 + 5 = 2$

よって, $x = 2$, $y = -3$

$$(6) \begin{cases} 3x - 2y = 12 \cdots \textcircled{1} \\ 2y = x - 8 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。

$\textcircled{2}$ の $2y$ を $\textcircled{1}$ の $2y$ に代入すると,

$$3x - (x - 8) = 12, 3x - x + 8 = 12, 2x = 4, x = 2$$

$x = 2$ を $\textcircled{2}$ に代入すると,

$$2y = 2 - 8, 2y = -6, y = -3$$

よって, $x = 2$, $y = -3$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} x + y = 10 \\ x - y = -2 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 2x + 3y = 12 \\ 5x + 3y = 21 \end{cases}$$

$$(3) \begin{cases} x - y = 4 \\ 3x + 7y = 12 \end{cases}$$

$$(4) \begin{cases} 2x + 3y = -4 \\ -4x + 9y = 38 \end{cases}$$

$$(5) \begin{cases} 7x + 4y = 30 \\ 5x + 3y = 22 \end{cases}$$

$$(6) \begin{cases} -2x - 5y = 24 \\ 3x - 4y = 10 \end{cases}$$

$$(7) \begin{cases} 7x - 2y = 9 \\ y = 2x \end{cases}$$

$$(8) \begin{cases} 7x - 4y = 9 \\ 4y = -x + 15 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	(6)
(7)	(8)

[解答](1) $x=4, y=6$ (2) $x=3, y=2$ (3) $x=4, y=0$ (4) $x=-5, y=2$
 (5) $x=2, y=4$ (6) $x=-2, y=-4$ (7) $x=3, y=6$ (8) $x=3, y=3$

[解説]

$$(1) \begin{cases} x + y = 10 \cdots \textcircled{1} \\ x - y = -2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために $\textcircled{1} + \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} x + y = 10 \\ +) x - y = -2 \quad \text{ゆえに } x = 8 \div 2 = 4 \\ \hline 2x = 8 \end{array}$$

$x = 4$ を $\textcircled{1}$ に代入すると, $4 + y = 10, y = 10 - 4 = 6$

よって, $x = 4, y = 6$

$$(2) \begin{cases} 2x + 3y = 12 \cdots \textcircled{1} \\ 5x + 3y = 21 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために $\textcircled{1} - \textcircled{2}$

$$2x + 3y = 12$$

$$\begin{array}{r} -) \ 5x + 3y = 21 \quad \text{ゆえに } x = (-9) \div (-3) = 3 \\ \underline{-3x} \quad = -9 \end{array}$$

$x = 3$ を①に代入すると, $2 \times 3 + 3y = 12$, $3y = 12 - 6$, $3y = 6$, $y = 2$
よって, $x = 3$, $y = 2$

$$(3) \begin{cases} x - y = 4 & \cdots \textcircled{1} \\ 3x + 7y = 12 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数を 3 にそろえるために① \times 3

$$\begin{cases} 3x - 3y = 12 & \cdots \textcircled{1}' \\ 3x + 7y = 12 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①' - ② で x を消去する。

$$3x - 3y = 12$$

$$\begin{array}{r} -) \ 3x + 7y = 12 \quad \text{ゆえに } y = 0 \div (-10) = 0 \\ \underline{-10y} = 0 \end{array}$$

$y = 0$ を①に代入すると, $x - 0 = 4$, $x = 4$
よって, $x = 4$, $y = 0$

$$(4) \begin{cases} 2x + 3y = -4 & \cdots \textcircled{1} \\ -4x + 9y = 38 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を 4 にそろえるために① \times 2

$$\begin{cases} 4x + 6y = -8 & \cdots \textcircled{1}' \\ -4x + 9y = 38 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①' + ② で x を消去する。

$$4x + 6y = -8$$

$$\begin{array}{r} +) \ -4x + 9y = 38 \quad \text{ゆえに } y = 30 \div 15 = 2 \\ \underline{15y} = 30 \end{array}$$

$y = 2$ を①に代入すると, $2x + 3 \times 2 = -4$, $2x = -4 - 6$, $2x = -10$, $x = -5$
よって, $x = -5$, $y = 2$

$$(5) \begin{cases} 7x + 4y = 30 & \cdots \textcircled{1} \\ 5x + 3y = 22 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y の係数を 12 にそろえるために① \times 3, ② \times 4

$$\begin{cases} 21x + 12y = 90 & \cdots \textcircled{1}' \\ 20x + 12y = 88 & \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

①' - ②' で y を消去する。

$$21x + 12y = 90$$

$$\begin{array}{r} -) 20x + 12y = 88 \\ \hline x = 2 \end{array}$$

$x = 2$ を②に代入すると, $5 \times 2 + 3y = 22$, $3y = 22 - 10$, $3y = 12$, $y = 4$
よって, $x = 2$, $y = 4$

$$(6) \begin{cases} -2x - 5y = 24 \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 4y = 10 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 x の係数の絶対値を6にそろえるために① $\times 3$, ② $\times 2$

$$\begin{cases} -6x - 15y = 72 \cdots \textcircled{1}' \\ 6x - 8y = 20 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

①'+②'で x を消去する。

$$\begin{array}{r} -6x - 15y = 72 \\ +) \quad 6x - 8y = 20 \quad \text{ゆえに } y = 92 \div (-23) = -4 \\ \hline -23y = 92 \end{array}$$

$y = -4$ を②に代入すると, $3x - 4 \times (-4) = 10$, $3x + 16 = 10$, $3x = -6$, $x = -2$
ゆえに $x = -2$, $y = -4$

$$(7) \begin{cases} 7x - 2y = 9 \cdots \textcircled{1} \\ y = 2x \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。($y = \sim$, $x = \sim$ という式があるときは代入法が計算しやすい)

②の y を①の y に代入すると,

$$7x - 2 \times 2x = 9, 7x - 4x = 9, 3x = 9, x = 3$$

$$x = 3 \text{ を②に代入すると, } y = 2 \times 3 = 6$$

よって, $x = 3$, $y = 6$

$$(8) \begin{cases} 7x - 4y = 9 \\ 4y = -x + 15 \end{cases} \text{ の式を整理して } \begin{cases} 7x - 4y = 9 \cdots \textcircled{1} \\ x + 4y = 15 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

y を消去するために①+②

$$\begin{array}{r} 7x - 4y = 9 \\ +) \quad x + 4y = 15 \quad \text{ゆえに } x = 24 \div 8 = 3 \\ \hline 8x = 24 \end{array}$$

$$x = 3 \text{ を②に代入すると, } 3 + 4y = 15, 4y = 15 - 3, 4y = 12, y = 3$$

よって, $x = 3$, $y = 3$

【1】 分数などのある連立方程式

[かっこがある場合]

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 9x - 5(x + y) = -3 \\ 3x - 4y = -2 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -2, y = -1$

[解説]

$$\begin{cases} 9x - 5(x + y) = -3 \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 4y = -2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

()がある場合は、まず()を展開して式を整理。

①より、 $9x - 5x - 5y = -3, 4x - 5y = -3$

$$\begin{cases} 4x - 5y = -3 \cdots \textcircled{1}' \\ 3x - 4y = -2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。 x の係数の絶対値を12にそろえるために①×3, ②×4

$$\begin{cases} 12x - 15y = -9 \cdots \textcircled{1}'' \\ 12x - 16y = -8 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

x を消去するために①''-②'

$$\begin{array}{r} 12x - 15y = -9 \\ -) 12x - 16y = -8 \\ \hline y = -1 \end{array}$$

$y = -1$ を②'に代入すると、 $3x - 4 \times (-1) = -2, 3x + 4 = -2, 3x = -6, x = -2$

よって、 $x = -2, y = -1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x + 5y = -18 \\ 5x - 3(x - y) = -10 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 1, y = -4$

【解説】

$$\begin{cases} 2x + 5y = -18 & \cdots \textcircled{1} \\ 5x - 3(x - y) = -10 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

()がある場合は、まず()を展開して式を整理する。

②より、 $5x - 3x + 3y = -10$, $2x + 3y = -10$

$$\begin{cases} 2x + 5y = -18 & \cdots \textcircled{1} \\ 2x + 3y = -10 & \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法も可)。xを消去するために①-②'

$$\begin{array}{r} 2x + 5y = -18 \\ -) 2x + 3y = -10 \quad \text{ゆえに } y = -8 \div 2 = -4 \\ \hline 2y = -8 \end{array}$$

y = -4を①に代入すると、 $2x + 5 \times (-4) = -18$, $2x - 20 = -18$, $2x = 2$, $x = 1$
よって、 $x = 1$, $y = -4$

【問題】(1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3(x - 2y) + 5y = 2 \\ 4x - 3(2x - y) = 8 \end{cases}$$

【解答欄】

【解答】 $x = 2$, $y = 4$

【解説】

$$\begin{cases} 3(x - 2y) + 5y = 2 & \cdots \textcircled{1} \\ 4x - 3(2x - y) = 8 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

()のある式では、まず()を展開して式を整理する

①より、 $3x - 6y + 5y = 2$, $3x - y = 2 \cdots \textcircled{1}'$

②より、 $4x - 6x + 3y = 8$, $-2x + 3y = 8 \cdots \textcircled{2}'$

加減法で解く(代入法も可)。yの係数の絶対値を3にあわせるために①'×3

$$\begin{cases} 9x - 3y = 6 & \cdots \textcircled{1}'' \\ -2x + 3y = 8 & \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

yを消去するために①''+②'

$$\begin{array}{r} 9x - 3y = 6 \\ +) -2x + 3y = 8 \quad \text{ゆえに } x = 14 \div 7 = 2 \\ \hline 7x = 14 \end{array}$$

x = 2を①'に代入すると、 $3 \times 2 - y = 2$, $6 - y = 2$, $-y = -4$, $y = 4$

よって、 $x = 2$, $y = 4$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 4(x+y) = y-5 \\ x = 3(x-y)+7 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -2, y = 1$

[解説]

$$\begin{cases} 4(x+y) = y-5 \cdots \textcircled{1} \\ x = 3(x-y)+7 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

()がある場合は、まず()を展開して式を整理する。

①より、 $4x+4y = y-5, 4x+3y = -5$

②より、 $x = 3x-3y+7, -2x+3y = 7$

$$\begin{cases} 4x+3y = -5 \cdots \textcircled{1}' \\ -2x+3y = 7 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法も可)。yを消去するために①'-②'

$$\begin{array}{r} 4x+3y = -5 \\ -) -2x+3y = 7 \\ \hline 6x \quad = -12 \end{array} \quad \text{ゆえに } x = -12 \div 6 = -2$$

$x = -2$ を②'に代入すると、 $-2 \times (-2) + 3y = 7, 4 + 3y = 7, 3y = 3, y = 1$
よって、 $x = -2, y = 1$

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2(x+2y)-3(x-y) = 4 \\ 3(x+2y)+3(x-y) = 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -\frac{1}{9}, y = \frac{5}{9}$

[解説]

$$\begin{cases} 2(x+2y)-3(x-y) = 4 \cdots \textcircled{1} \\ 3(x+2y)+3(x-y) = 1 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①を整理すると、 $2x+4y-3x+3y = 4, -x+7y = 4 \cdots \textcircled{1}'$

②を整理すると、 $3x+6y+3x-3y=1$, $6x+3y=1\cdots②'$

代入法で解く(加減法も可)。①'より、 $-x=4-7y$, $x=-4+7y\cdots①''$

①''を②'に代入すると、 $6(-4+7y)+3y=1$, $-24+42y+3y=1$, $45y=25$

$$y = 25 \div 45 = \frac{25}{45} = \frac{5}{9}$$

$$y = \frac{5}{9} \text{を①''に代入すると, } x = -4 + 7 \times \frac{5}{9} = -4 + \frac{35}{9} = -\frac{36}{9} + \frac{35}{9} = -\frac{1}{9}$$

$$\text{よって, } x = -\frac{1}{9}, y = \frac{5}{9}$$

[分数がある場合]

[問題](1学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x+y=4 \\ \frac{1}{2}x+\frac{1}{3}y=1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=-2$, $y=6$

[解説]

$$\begin{cases} x+y=4 & \cdots① \\ \frac{1}{2}x+\frac{1}{3}y=1 & \cdots② \end{cases}$$

係数が分数の場合はまず分母を払う。②の両辺に6をかけると、

$$\begin{cases} x+y=4 & \cdots① \\ 3x+2y=6 & \cdots②' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法でも可)。yの係数の絶対値を2にそろえるために①×2

$$\begin{cases} 2x+2y=8 & \cdots①' \\ 3x+2y=6 & \cdots②' \end{cases}$$

yを消去するために①'-②'

$$\begin{array}{r} 2x+2y=8 \\ -) \quad 3x+2y=6 \quad \text{ゆえに } x=-2 \\ \hline -x \quad = 2 \end{array}$$

$x=-2$ を①'に代入すると、 $-2+y=4$, $y=6$

よって、 $x=-2$, $y=6$

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x - y = 8 \\ \frac{x}{3} - \frac{y}{4} = 1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 6, y = 4$

[解説]

$$\begin{cases} 2x - y = 8 \cdots \text{①} \\ \frac{x}{3} - \frac{y}{4} = 1 \cdots \text{②} \end{cases}$$

係数に分数があるときは分母を払う。②の両辺に12をかけると、

$$\frac{x}{3} \times 12 - \frac{y}{4} \times 12 = 1 \times 12, 4x - 3y = 12 \cdots \text{②}'$$

$$\begin{cases} 2x - y = 8 \cdots \text{①} \\ 4x - 3y = 12 \cdots \text{②}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法も可)。yの係数の絶対値を3にそろえるために①×3

$$\begin{cases} 6x - 3y = 24 \cdots \text{①}' \\ 4x - 3y = 12 \cdots \text{②}' \end{cases}$$

yを消去するために①' - ②'

$$\begin{array}{r} 6x - 3y = 24 \\ -) 4x - 3y = 12 \quad \text{ゆえに } x = 12 \div 2 = 6 \\ \hline 2x \quad = 12 \end{array}$$

$x = 6$ を①'に代入すると、

$$2 \times 6 - y = 8, 12 - y = 8, -y = -4, y = 4$$

よって、 $x = 6, y = 4$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 4x + 3y = -1 \\ \frac{1}{2}x - \frac{1}{3}y = 2 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 2, y = -3$

[解説]

$$\begin{cases} 4x + 3y = -1 \cdots \textcircled{1} \\ \frac{1}{2}x - \frac{1}{3}y = 2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に分数があるときはまず分母を払う。②の両辺に6をかけると、

$$\frac{1}{2}x \times 6 - \frac{1}{3}y \times 6 = 2 \times 6, \quad 3x - 2y = 12$$

$$\begin{cases} 4x + 3y = -1 \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 2y = 12 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。yの係数の絶対値を6にそろえるために①×2, ②×3

$$\begin{cases} 8x + 6y = -2 \cdots \textcircled{1}'' \\ 9x - 6y = 36 \cdots \textcircled{2}''' \end{cases}$$

yを消去するために、①'+②'''

$$8x + 6y = -2$$

$$+) \quad \underline{9x - 6y = 36} \quad \text{ゆえに } x = 34 \div 17 = 2$$

$$17x = 34$$

$x = 2$ を①に代入して、

$$4 \times 2 + 3y = -1, \quad 8 + 3y = -1, \quad 3y = -9, \quad y = -3$$

よって、 $x = 2, y = -3$

[問題](1学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} -3x + 5y = -35 \\ \frac{1}{5}x - \frac{3}{4}y = 4 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 5, y = -4$

[解説]

$$\begin{cases} -3x + 5y = -35 \cdots \textcircled{1} \\ \frac{1}{5}x - \frac{3}{4}y = 4 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数が分数の場合は、まず分母を払う。②の両辺に20をかけると、

$$\frac{1}{5}x \times 20 - \frac{3}{4}y \times 20 = 4 \times 20, \quad 4x - 15y = 80$$

$$\begin{cases} -3x + 5y = -35 \cdots \textcircled{1} \\ 4x - 15y = 80 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。yの係数の絶対値を15にそろえるために①×3

$$\begin{cases} -9x + 15y = -105 \cdots \textcircled{1}' \\ 4x - 15y = 80 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

yを消去するために①'+②'

$$-9x + 15y = -105$$

$$+) \quad \underline{4x - 15y = 80} \quad \text{ゆえに } x = -25 \div (-5) = 5$$

$$-5x = -25$$

x=5を①に代入すると,

$$-3 \times 5 + 5y = -35, \quad -15 + 5y = -35, \quad 5y = -20, \quad y = -4$$

よって, $x = 5, y = -4$

[問題](2学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} \frac{1}{3}x - y = -\frac{1}{3} \\ x - \frac{1}{3}y = \frac{5}{3} \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 2, y = 1$

[解説]

$$\begin{cases} \frac{1}{3}x - y = -\frac{1}{3} \cdots \textcircled{1} \\ x - \frac{1}{3}y = \frac{5}{3} \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に分数があるときはまず分母を払う。①×3, ②×3

$$\begin{cases} x - 3y = -1 \cdots \textcircled{1}' \\ 3x - y = 5 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

代入法で解く(加減法も可)。

$$\textcircled{1}' \text{より } x - 3y = -1, \quad x = 3y - 1 \cdots \textcircled{1}''$$

①''のxを②'のxに代入すると,

$$3(3y-1)-y=5, 9y-3-y=5, 8y=8, y=1$$

$y=1$ を①”に代入すると, $x=3\times 1-1=2$

よって, $x=2, y=1$

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} \frac{x}{3}+y=2 \\ 2x=3y \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=2, y=\frac{4}{3}$

[解説]

$$\begin{cases} \frac{x}{3}+y=2 \cdots \textcircled{1} \\ 2x=3y \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

代入法で解く。②より $3y=2x, y=2x\div 3, y=\frac{2x}{3} \cdots \textcircled{2}'$

②'を①に代入すると, $\frac{x}{3}+\frac{2x}{3}=2, \frac{3x}{3}=2, x=2$

②'に $x=2$ を代入すると, $y=\frac{2\times 2}{3}=\frac{4}{3}$

よって, $x=2, y=\frac{4}{3}$

[小数がある場合]

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 0.8x-0.1y=1 \\ 3x-0.5y=2 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x=3, y=14$

[解説]

$$\begin{cases} 0.8x - 0.1y = 1 \cdots \textcircled{1} \\ 3x - 0.5y = 2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に小数がある場合は、10倍、100倍 \cdots して係数をすべて整数にする。

$$\textcircled{1} \text{の両辺に} 10 \text{をかけると、} 8x - y = 10 \cdots \textcircled{1}'$$

$$\textcircled{2} \text{の両辺に} 10 \text{をかけると、} 30x - 5y = 20, 6x - y = 4 \cdots \textcircled{2}'$$

加減法で解く(代入法でも可)。yを消去するために $\textcircled{1}' - \textcircled{2}'$

$$\begin{array}{r} 8x - y = 10 \\ -) \quad 6x - y = 4 \quad \text{ゆえに } x = 6 \div 2 = 3 \\ \hline 2x \quad = 6 \end{array}$$

$x = 3$ を $\textcircled{2}'$ に代入すると、

$$6 \times 3 - y = 4, 18 - y = 4, -y = -14, y = 14$$

よって、 $x = 3, y = 14$

[問題](2学期中間)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 0.4x - 0.5y = 0.7 \\ 0.5x - 0.6y = 0.9 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 3, y = 1$

[解説]

$$\begin{cases} 0.4x - 0.5y = 0.7 \cdots \textcircled{1} \\ 0.5x - 0.6y = 0.9 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に小数があるときは10倍、100倍 \cdots して係数を整数にする。 $\textcircled{1} \times 10, \textcircled{2} \times 10$

$$\begin{cases} 4x - 5y = 7 \cdots \textcircled{1}' \\ 5x - 6y = 9 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。xの係数の絶対値を20にそろえるために $\textcircled{1}' \times 5, \textcircled{2}' \times 4$

$$\begin{cases} 20x - 25y = 35 \cdots \textcircled{1}'' \\ 20x - 24y = 36 \cdots \textcircled{2}'' \end{cases}$$

xを消去するために $\textcircled{1}'' - \textcircled{2}''$

$$\begin{array}{r} 20x - 25y = 35 \\ -) \quad 20x - 24y = 36 \quad \text{ゆえに } y = -1 \div (-1) = 1 \\ \hline -y = -1 \end{array}$$

$y = 1$ を $\textcircled{1}'$ に代入すると、 $4x - 5 \times 1 = 7, 4x = 12, x = 3$

よって、 $x = 3, y = 1$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 5x - 2y = 4 \\ x + 0.3y = 0.1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 0.4, y = -1$

[解説]

$$\begin{cases} 5x - 2y = 4 \cdots \text{①} \\ x + 0.3y = 0.1 \cdots \text{②} \end{cases}$$

小数点がある場合はまず10倍, 100倍して係数を整数にする。②×10で

$$\begin{cases} 5x - 2y = 4 \cdots \text{①} \\ 10x + 3y = 1 \cdots \text{②}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。xの係数の絶対値を10にそろえるために①×2

$$\begin{cases} 10x - 4y = 8 \cdots \text{①}' \\ 10x + 3y = 1 \cdots \text{②}' \end{cases}$$

xを消去するために①'−②'

$$10x - 4y = 8$$

$$\begin{array}{r} -) \quad 10x + 3y = 1 \\ \quad \quad -7y = 7 \end{array} \quad \text{ゆえに } y = 7 \div (-7) = -1$$

y = -1を①に代入すると, $5x - 2 \times (-1) = 4, 5x + 2 = 4, 5x = 2, x = 0.4$

よって, $x = 0.4, y = -1$

[全般]

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} \frac{2}{3}x + \frac{1}{2}y = 1 \\ 2(x - 2y) = -3y + 8 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 3, y = -2$

[解説]

$$\begin{cases} \frac{2}{3}x + \frac{1}{2}y = 1 & \cdots \textcircled{1} \\ 2(x - 2y) = -3y + 8 & \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に分数があるものは分母を払い、()があるものは()を展開して式を整理する。

$$\textcircled{1} \text{の両辺に} 6 \text{をかけて分母を払うと, } \frac{2}{3}x \times 6 + \frac{1}{2}y \times 6 = 1 \times 6, 4x + 3y = 6 \cdots \textcircled{1}'$$

$$\textcircled{2} \text{より, } 2x - 4y + 3y = 8, 2x - y = 8 \cdots \textcircled{2}'$$

$$\begin{cases} 4x + 3y = 6 \cdots \textcircled{1}' \\ 2x - y = 8 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法でも可)。yの係数の絶対値を3にそろえるために $\textcircled{2}' \times 3$

$$\begin{cases} 4x + 3y = 6 \cdots \textcircled{1}' \\ 6x - 3y = 24 \cdots \textcircled{2}'' \end{cases}$$

yを消去するために $\textcircled{1}' + \textcircled{2}''$

$$4x + 3y = 6$$

$$+) \quad \underline{6x - 3y = 24} \quad \text{ゆえに } x = 30 \div 10 = 3$$

$$10x = 30$$

$$x = 3 \text{を}\textcircled{1}' \text{に代入して, } 4 \times 3 + 3y = 6, 12 + 3y = 6, 3y = -6, y = -2$$

よって, $x = 3, y = -2$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 3(x - y) + 5y = 3 \\ -\frac{3}{5}x + \frac{1}{2}y = -6 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 5, y = -6$

[解説]

$$\begin{cases} 3(x - y) + 5y = 3 \cdots \textcircled{1} \\ -\frac{3}{5}x + \frac{1}{2}y = -6 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

まず, それぞれの式を整理する。

$$\textcircled{1} \text{より, } 3x - 3y + 5y = 3, 3x + 2y = 3 \cdots \textcircled{1}'$$

$\textcircled{2}$ の両辺に10をかけて分母を払う。

$$-\frac{3}{5}x \times 10 + \frac{1}{2}y \times 10 = -6 \times 10, -6x + 5y = -60 \cdots \textcircled{2}'$$

①'と②'を加減法で解く。xの係数の絶対値を6にそろえるために①'×2

$$\begin{cases} 6x + 4y = 6 \cdots \textcircled{1}'' \\ -6x + 5y = -60 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

xを消去するために①''+②'

$$\begin{array}{r} 6x + 4y = 6 \\ +) -6x + 5y = -60 \\ \hline 9y = -54 \end{array} \quad \text{ゆえに } y = -54 \div 9 = -6$$

y = -6を①'に代入すると, $3x + 2 \times (-6) = 3$, $3x - 12 = 3$, $3x = 15$, $x = 5$
よって, $x = 5$, $y = -6$

[問題](2 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 0.2x - 1.4y = 5 \\ \frac{1}{4}x + \frac{2}{3}y = -1 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 4$, $y = -3$

[解説]

$$\begin{cases} 0.2x - 1.4y = 5 \cdots \textcircled{1} \\ \frac{1}{4}x + \frac{2}{3}y = -1 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①の係数の小数を整数にするために①×10で, $2x - 14y = 50$, $x - 7y = 25 \cdots \textcircled{1}'$

②の係数の分母をはらうために分母の最小公倍数 12 をかけて,

$$\frac{1}{4}x \times 12 + \frac{2}{3}y \times 12 = -1 \times 12, 3x + 8y = -12 \cdots \textcircled{2}'$$

代入法で解く(加減法も可)。①'より, $x = 25 + 7y \cdots \textcircled{1}''$ これを②'に代入すると,

$$3(25 + 7y) + 8y = -12, 75 + 21y + 8y = -12, 29y = -12 - 75, 29y = -87$$

$$y = -87 \div 29, y = -3$$

$$y = -3 \text{ を } \textcircled{1}'' \text{ に代入すると, } x = 25 + 7 \times (-3), x = 4$$

よって, $x = 4$, $y = -3$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 0.8x - 0.3y = 0.9 \\ -\frac{1}{6}x + \frac{1}{2}y = 2 \end{cases}$$

[解答欄]

--

[解答] $x = 3, y = 5$

[解説]

$$\begin{cases} 0.8x - 0.3y = 0.9 \cdots \textcircled{1} \\ -\frac{1}{6}x + \frac{1}{2}y = 2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に小数があるときは10倍, 100倍 \cdots して係数を整数にする。また, 係数に分数があるときは分母を払う。① $\times 10$, ② $\times 6$

$$\begin{cases} 8x - 3y = 9 \cdots \textcircled{1}' \\ -x + 3y = 12 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

加減法で解く(代入法も可)。yを消去するために①'+②'

$$\begin{array}{r} 8x - 3y = 9 \\ +) -x + 3y = 12 \quad \text{ゆえに } x = 21 \div 7 = 3 \\ \hline 7x = 21 \end{array}$$

$x = 3$ を②'に代入すると, $-3 + 3y = 12, 3y = 15, y = 5$

よって, $x = 3, y = 5$

[問題](1 学期期末)

次の連立方程式を解け。

$$(1) \begin{cases} x - 3(x - 7) = -7 \\ x - y = 2 \end{cases} \qquad (2) \begin{cases} 0.8x - 0.3y = 0.9 \\ -x + 3y = 12 \end{cases}$$
$$(3) \begin{cases} 3x - 2y = 0 \\ \frac{1}{2}x + \frac{1}{3}y = 2 \end{cases}$$

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) $x = 14, y = 12$ (2) $x = 3, y = 5$ (3) $x = 2, y = 3$

【解説】

$$(1) \begin{cases} x - 3(x - 7) = -7 \cdots \textcircled{1} \\ x - y = 2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

()がある場合は、まず()を展開して式を整理する。

$$\textcircled{1} \text{より, } x - 3x + 21 = -7, -2x = -28, x = 14$$

$$x = 14 \text{を}\textcircled{2}\text{に代入すると, } 14 - y = 2, -y = -12, y = 12$$

よって, $x = 14, y = 12$

$$(2) \begin{cases} 0.8x - 0.3y = 0.9 \cdots \textcircled{1} \\ -x + 3y = 12 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に小数点がある場合は、まず10倍、100倍 \cdots して係数を整数にする。 $\textcircled{1} \times 10$ で、

$$\begin{cases} 8x - 3y = 9 \cdots \textcircled{1}' \\ -x + 3y = 12 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために $\textcircled{1}' + \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} 8x - 3y = 9 \\ +) -x + 3y = 12 \quad \text{ゆえに } x = 21 \div 7 = 3 \\ \hline 7x \quad = 21 \end{array}$$

$x = 3$ を $\textcircled{2}$ に代入すると、 $-3 + 3y = 12, 3y = 15, y = 5$ よって、 $x = 3, y = 5$

$$(3) \begin{cases} 3x - 2y = 0 \cdots \textcircled{1} \\ \frac{1}{2}x + \frac{1}{3}y = 2 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

係数に分数がある場合は、まず分母を払う。 $\textcircled{2}$ の両辺に6をかけると、

$$\frac{1}{2}x \times 6 + \frac{1}{3}y \times 6 = 2 \times 6, 3x + 2y = 12$$

$$\begin{cases} 3x - 2y = 0 \cdots \textcircled{1} \\ 3x + 2y = 12 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く(代入法も可)。 y を消去するために $\textcircled{1} + \textcircled{2}$

$$\begin{array}{r} 3x - 2y = 0 \\ +) 3x + 2y = 12 \quad \text{ゆえに } x = 12 \div 6 = 2 \\ \hline 6x \quad = 12 \end{array}$$

$x = 2$ を $\textcircled{1}$ に代入すると、 $3 \times 2 - 2y = 0, 6 - 2y = 0, -2y = -6, y = 3$

よって、 $x = 2, y = 3$

【】 $A=B=C$, 3 元連立方程式

[問題](前期期末)

太郎君は、方程式 $6x+5y=-3x+2y=9$ を解くために 3 通りの連立方程式のつくりかたがあるのに気づいた。

- (1) 3 通りの連立方程式をかけ。
 (2) (1)の 1 つを解いて解を求めよ。

[解答欄]

(1)
(2)

[解答](1) $\begin{cases} 6x+5y=9 \\ -3x+2y=9 \end{cases}$, $\begin{cases} 6x+5y=-3x+2y \\ -3x+2y=9 \end{cases}$, $\begin{cases} 6x+5y=-3x+2y \\ 6x+5y=9 \end{cases}$

(2) $x=-1, y=3$

[解説]

(1) $A=B=C$ の方程式は、 $\begin{cases} A=C \\ B=C \end{cases}$, $\begin{cases} A=B \\ B=C \end{cases}$, $\begin{cases} A=B \\ A=C \end{cases}$ のいずれかの連立方程式として解くこ

とができる。いずれの連立方程式で解いても答は同じになる。

(2) $\begin{cases} 6x+5y=9 \cdots\textcircled{1} \\ -3x+2y=9 \cdots\textcircled{2} \end{cases}$ の連立方程式を解いて、 x, y を求めることにする。

加減法で解く。 x を消去するために、 $\textcircled{2}$ の両辺を 2 倍して、

$$\begin{cases} 6x+5y=9 \cdots\textcircled{1} \\ -6x+4y=18 \cdots\textcircled{2}' \end{cases}$$

$\textcircled{1}+\textcircled{2}'$ より、 $9y=27, y=3$

$y=3$ を $\textcircled{1}$ に代入して、 $6x+15=9, 6x=-6, x=-1$

[問題](前期期末)

$5x-3y=-3x+2y-1=x+3$ を満たす x, y を求めよ。

[解答欄]

--

[解答] $x=-\frac{9}{2}, y=-7$

[解説]

$5x-3y=-3x+2y-1=x+3$ を次の 2 つの式に分けて、連立方程式として解く。

$$\begin{cases} 5x-3y=-3x+2y-1 \\ -3x+2y-1=x+3 \end{cases}$$

それぞれの式を整理して,

$$\begin{cases} 8x - 5y = -1 \cdots \textcircled{1} \\ -4x + 2y = 4 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く。 y を消去するために②の式の両辺に 2 をかけて,

$$\begin{cases} 8x - 5y = -1 \cdots \textcircled{1} \\ -8x + 4y = 8 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

①+②' より, $-y = 7$ よって $y = -7$

$y = -7$ を①に代入すると, $8x + 35 = -1$, $8x = -36$, $x = -36 \div 8$

よって, $x = -\frac{9}{2}$

[問題](1 学期期末)

次の連理方程式を解け。

$$\begin{cases} x + y - z = 6 \cdots \textcircled{1} \\ x - y = -2 \cdots \textcircled{2} \\ x = z \cdots \textcircled{3} \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = 4$, $y = 6$, $z = 4$

[解説]

③を①に代入すると, $x + y - x = 6$ となり, $y = 6$

②に $y = 6$ を代入すると, $x - 6 = -2$

よって, $x = 4$

③より $z = 4$ ゆえに, $x = 4$, $y = 6$, $z = 4$

[問題](2 学期期末)

次の 3 つの方程式から, x , y , z の値を求めよ。

$$\begin{cases} x + y = 2 \\ -2y - z = -8 \\ z + x = -5 \end{cases}$$

[解答欄]

[解答] $x = -3$, $y = 5$, $z = -2$

【解説】

$$\begin{cases} x + y = 2 & \cdots \textcircled{1} \\ -2y - z = -8 & \cdots \textcircled{2} \\ z + x = -5 & \cdots \textcircled{3} \end{cases}$$

まず、 z を消去する。 $\textcircled{3}$ の x を右辺に移項すると、 $z = -5 - x \cdots \textcircled{3}'$

これを $\textcircled{2}$ に代入すると、

$$-2y - (-5 - x) = -8, \quad -2y + 5 + x = -8, \quad x - 2y = -13 \cdots \textcircled{4}$$

$\textcircled{1}$ と $\textcircled{4}$ の連立方程式を解く。 $\textcircled{4}$ より、 $x = -13 + 2y \cdots \textcircled{4}'$

$\textcircled{4}'$ を $\textcircled{1}$ に代入すると、

$$(-13 + 2y) + y = 2, \quad -13 + 3y = 2, \quad 3y = 15, \quad y = 5$$

$$y = 5 \text{を}\textcircled{4}'\text{に代入すると, } x = -13 + 2 \times 5 = -3$$

$$x = -3 \text{を}\textcircled{3}'\text{に代入すると, } z = -5 - (-3) = -2$$

以上より、 $x = -3, y = 5, z = -2$

【】 係数の決定

[係数の決定①]

[問題](2 学期期末)

連立方程式 $\begin{cases} ax+by=11 \\ bx-ay=-2 \end{cases}$ の解が $x=3, y=-4$ になるという。 a, b の値を求めよ。

[解答欄]

[解答] $a=1, b=-2$

[解説]

例えば、連立方程式 $\begin{cases} 3x+2y=23 \cdots \textcircled{1} \\ 5x+2y=29 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$ の解は $x=3, y=7$ であるので、

①, ②の式に $x=3, y=7$ を代入して(左辺)=(右辺)がなりたつ。

①に $x=3, y=7$ を代入すると、(左辺) $= 3 \times 3 + 2 \times 7 = 23 =$ (右辺)がなりたつ。

②に $x=3, y=7$ を代入すると、(左辺) $= 5 \times 3 + 2 \times 7 = 29 =$ (右辺)がなりたつ。

これは、係数に a, b 等の文字が使われている場合も同様である。この問題についていえば、

連立方程式 $\begin{cases} ax+by=11 \cdots \textcircled{3} \\ bx-ay=-2 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$ の解が $x=3, y=-4$ であるので、③, ④の式に $x=3, y=-4$

を代入しても(左辺)=(右辺)がなりたつ。

③に $x=3, y=-4$ を代入すると、 $a \times 3 + b \times (-4) = 11, 3a - 4b = 11 \cdots \textcircled{5}$

④に $x=3, y=-4$ を代入すると、 $b \times 3 - a \times (-4) = -2, 3b + 4a = -2 \cdots \textcircled{6}$

がそれぞれなりたつ。

⑤, ⑥を同時に満たす a, b を求めるためには、⑤, ⑥を a, b についての連立方程式として解けばよい。

$$\begin{cases} 3a-4b=11 \cdots \textcircled{5} \\ 4a+3b=-2 \cdots \textcircled{6} \end{cases}$$

加減法で解く。 b の係数を12にそろえるために⑤ $\times 3$, ⑥ $\times 4$

$$\begin{cases} 9a-12b=33 \cdots \textcircled{5}' \\ 16a+12b=-8 \cdots \textcircled{6}' \end{cases}$$

b を消去するために⑤' + ⑥'

$$\begin{array}{r} 9a-12b=33 \\ +) 16a+12b=-8 \\ \hline 25a \quad = 25 \end{array} \quad \text{ゆえに } a = 25 \div 25 = 1$$

$a=1$ を⑥'に代入すると、 $4 \times 1 + 3b = -2, 3b = -6, b = -2$

よって、 $a=1, b=-2$

[問題](1 学期期末)

連立方程式 $\begin{cases} ax - 2by = -5 \\ bx + ay = 8 \end{cases}$ の解が $x = 1, y = 2$ であるとき, a, b の値を求めよ。

[解答欄]

[解答] $a = 3, b = 2$

[解説]

$$\begin{cases} ax - 2by = -5 \\ bx + ay = 8 \end{cases} \text{ に } x = 1, y = 2 \text{ を代入すると, } \begin{cases} a - 4b = -5 \cdots \textcircled{1} \\ b + 2a = 8 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

これを a, b についての連立方程式として代入法で解く。

$$\textcircled{1} \text{ より, } a = 4b - 5 \cdots \textcircled{1}'$$

$\textcircled{1}'$ を $\textcircled{2}$ に代入すると,

$$b + 2(4b - 5) = 8, b + 8b - 10 = 8, 9b = 18, b = 2$$

$$b = 2 \text{ を } \textcircled{1}' \text{ に代入すると, } a = 4 \times 2 - 5 = 3$$

よって, $a = 3, b = 2$

[問題](2 学期中間)

x, y の二元一次連立方程式 $\begin{cases} ax + by = -11 \\ bx + ay = 10 \end{cases}$ の解が $x = -1, y = 2$ であるとき, a, b の値を

求めよ。

[解答欄]

[解答] $a = 3, b = -4$

[解説]

$$\begin{cases} ax + by = -11 \\ bx + ay = 10 \end{cases} \text{ に } x = -1, y = 2 \text{ を代入すると, } \begin{cases} -a + 2b = -11 \cdots \textcircled{1} \\ -b + 2a = 10 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

これを a, b についての連立方程式として代入法で解く。

$$\textcircled{1} \text{ より, } -a = -2b - 11, a = 2b + 11 \cdots \textcircled{1}'$$

$\textcircled{1}'$ を $\textcircled{2}$ に代入すると,

$$-b + 2(2b + 11) = 10, -b + 4b + 22 = 10, 3b = -12, b = -4$$

$$b = -4 \text{ を } \textcircled{1}' \text{ に代入すると, } a = 2 \times (-4) + 11 = 3$$

よって, $a = 3, b = -4$

[問題](1 学期中間)

連立方程式 $\begin{cases} ax - by = -10 \\ bx + ay = 5 \end{cases}$ の解が $x = 2, y = 1$ であるとき, a, b の値を求めよ。

[解答欄]

[解答] $a = -3, b = 4$

[解説]

$$\begin{cases} ax - by = -10 \\ bx + ay = 5 \end{cases} \text{ に } x = 2, y = 1 \text{ を代入すると, } \begin{cases} 2a - b = -10 \cdots \textcircled{1} \\ 2b + a = 5 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

これを a, b についての連立方程式として代入法で解く。

$$\textcircled{2} \text{ より } a = -2b + 5 \cdots \textcircled{2}'$$

$\textcircled{2}'$ を $\textcircled{1}$ に代入すると,

$$2(-2b + 5) - b = -10, -4b + 10 - b = -10, -5b = -20, b = 4$$

$$b = 4 \text{ を } \textcircled{2}' \text{ に代入すると, } a = -2 \times 4 + 5 = -3$$

よって, $a = -3, b = 4$

[問題](1 学期期末)

x と y についての連立方程式 $\begin{cases} ax + 4y = 17 \\ 2x + by = -4 \end{cases}$ の解が $x = 3, y = 2$ である。 a, b の値を求めよ。

よ。

[解答欄]

[解答] $a = 3, b = -5$

[解説]

$$x = 3, y = 2 \text{ を連立方程式 } \begin{cases} ax + 4y = 17 \\ 2x + by = -4 \end{cases} \text{ に代入すると, } \begin{cases} 3a + 8 = 17 \cdots \textcircled{1} \\ 6 + 2b = -4 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

$$\textcircled{1} \text{ より, } 3a = 9, a = 3$$

$$\textcircled{2} \text{ より, } 2b = -10, b = -5$$

よって, $a = 3, b = -5$

[係数の決定②]

[問題](2 学期中間)

連立方程式 $\begin{cases} 3x + y = a \\ 5x - y = 4a \end{cases}$ の解のうち、 x の値は 5 である。このとき y の値を求めよ。

[解答欄]

--

[解答] $y = -7$

[解説]

$$\begin{cases} 3x + y = a \\ 5x - y = 4a \end{cases} \text{ に } x = 5 \text{ を代入すると, } \begin{cases} 15 + y = a \cdots \textcircled{1} \\ 25 - y = 4a \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

これを、 y, a についての連立方程式として解く。

①+②より、

$$15 + y + 25 - y = a + 4a, \quad 40 = 5a, \quad a = 8$$

①に $a = 8$ を代入すると、 $15 + y = 8, \quad y = 8 - 15 = -7$

よって、 $y = -7$

[問題](1 学期期末)

2 組の連立方程式

$$\begin{cases} 4x + 7y = 1 \\ ax - by = 10 \end{cases} \quad \begin{cases} 5x - 2y = 12 \\ bx + ay = 5 \end{cases}$$

が同じ解をもつとき、次の各問いに答えよ。

(1) 解を求めよ。

(2) a, b の値を求めよ。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) $x = 2, y = -1$ (2) $a = 3, b = 4$

[解説]

(1) 同じ解をもつので、 x, y は、 $4x + 7y = 1, 5x - 2y = 12$ をともに満たす。これを連立方程式として解く。

$$\begin{cases} 4x + 7y = 1 \cdots \textcircled{1} \\ 5x - 2y = 12 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。 y の係数の絶対値を 14 にそろえるために①×2, ②×7

$$\begin{cases} 8x + 14y = 2 \cdots \textcircled{1}' \\ 35x - 14y = 84 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

y を消去するために①'+②'

$$43x = 86, x = 2$$

$x = 2$ を②に代入すると, $5 \times 2 - 2y = 12, 10 - 2y = 12, -2y = 2, y = -1$

よって, $x = 2, y = -1$

(2) $ax - by = 10, bx + ay = 5$ の x, y は $x = 2, y = -1$ なので, 代入して

$$\begin{cases} 2a + b = 10 \cdots \textcircled{3} \\ 2b - a = 5 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

これを a, b についての連立方程式として代入法で解く。

③より, $b = -2a + 10 \cdots \textcircled{3}'$

③'を④に代入すると, $2(-2a + 10) - a = 5, -4a + 20 - a = 5, -5a = -15, a = 3$

$a = 3$ を③'に代入すると, $b = -2 \times 3 + 10 = 4$ よって, $a = 3, b = 4$

[問題](1 学期期末)

2 つの連立方程式 $\begin{cases} 4x - 3y = 17 \\ ax - 2by = 20 \end{cases}, \begin{cases} 2ax + by = -5 \\ 2x + 5y = -11 \end{cases}$ は同じ解をもつという。このとき,

a, b の値を求めよ。

[解答欄]

[解答] $a = 1, b = 3$

[解説]

同じ解をもつので, x, y は, $4x - 3y = 17, 2x + 5y = -11$ をともに満たす。これを連立方程式として解く。

$$\begin{cases} 4x - 3y = 17 \cdots \textcircled{1} \\ 2x + 5y = -11 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

加減法で解く(代入法は不適當)。 x の係数の絶対値を 4 にそろえるために② $\times 2$

$$\begin{cases} 4x - 3y = 17 \cdots \textcircled{1} \\ 4x + 10y = -22 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

x を消去するために, ① $-$ ②'

$$-13y = 39, y = -3$$

$y = -3$ を②に代入すると, $2x + 5 \times (-3) = -11, 2x - 15 = -11, 2x = 4, x = 2$

よって, $x = 2, y = -3$

次に,

$ax - 2by = 20, 2ax + by = -5$ の x, y は $x = 2, y = -3$ なので, 代入して

$$\begin{cases} 2a + 6b = 20 \cdots \textcircled{3} \\ 4a - 3b = -5 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

これを a, b の連立方程式として加減法で解く。

b の係数の絶対値を6にそろえるために④×2

$$\begin{cases} 2a + 6b = 20 \cdots \textcircled{3} \\ 8a - 6b = -10 \cdots \textcircled{4}' \end{cases}$$

b を消去するために③+④' $10a = 10, a = 1$

$a = 1$ を③に代入すると, $2 + 6b = 20, 6b = 18, b = 3$

よって, $a = 1, b = 3$

[問題](1 学期期末)

連立方程式 $\begin{cases} 3x + 2y = 4 \\ ax + 4y = a + 5 \end{cases}$ の解が $4x - 3y = 11$ を満たすとき a の値を求めよ。

[解答欄]

[解答] $a = 9$

[解説]

この連立方程式の解 x, y は $3x + 2y = 4$ と $4x - 3y = 11$ をともに満たす。そこで, まず

連立方程式 $\begin{cases} 3x + 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \\ 4x - 3y = 11 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$ を解く。

加減法で解く(代入法は不適當)。 x の係数の絶対値を6にそろえるために①×3, ②×2

$$\begin{cases} 9x + 6y = 12 \cdots \textcircled{1}' \\ 8x - 6y = 22 \cdots \textcircled{2}' \end{cases}$$

y を消去するために①'+②'

$$17x = 34, x = 2$$

$x = 2$ を①に代入すると, $3 \times 2 + 2y = 4, 6 + 2y = 4, 2y = -2, y = -1$

よって, $x = 2, y = -1$

この x, y を $ax + 4y = a + 5$ に代入すると, $2a - 4 = a + 5$

よって, $a = 9$

[問題](2 学期期末)

連立方程式 $\begin{cases} ax + by = 1 \\ cx - 7y = 13 \end{cases}$ を Pさんは正しく解いて, 解は $x = 4, y = -3$ になった。Qさん

は c を書き間違えたために, 解は $x = -1, y = 1$ になった。 a, b, c の値を求めよ。

[解答欄]

[解答] $a = 4, b = 5, c = -2$

【解説】

$\begin{cases} ax+by=1 \\ cx-7y=13 \end{cases}$ の正しい解は、 $x=4, y=-3$ なので、これを代入して、

$$\begin{cases} 4a-3b=1 \cdots \textcircled{1} \\ 4c+21=13 \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

②より、 $4c=13-21, 4c=-8, c=-2$

Qさんは c を書き間違えたが、 a, b は間違っていないので、 $x=-1, y=1$ は
 $ax+by=1$ の式を満たすはずである。 $ax+by=1$ に $x=-1, y=1$ を代入すると、
 $-a+b=1 \cdots \textcircled{3}$

①、③を a, b についての連立方程式として解く。

③より、 $b=1+a$ これを①に代入すると、

$$4a-3(1+a)=1, 4a-3-3a=1, a=4$$

したがって、 $b=1+a=1+4=5$

以上より、 $a=4, b=5, c=-2$

[印刷／他の PDF ファイルについて]

※このファイルは、FdData 中間期末数学 2 年(7,800 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 中間期末数学 2 年は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル，および製品版の購入方法は <http://www.fdtex.com/dat/> に掲載しております。

【Fd 教材開発】(092) 404-2266